

愛西市「二十歳の集い」  
佐屋会場346人、佐織会場283人を祝う

1月12日（日）、愛西市の「二十歳の集い」がひらかれました。今年も、佐屋会場（愛西市文化会館）に佐屋地区・立田地区から346人、佐織会場（佐織公民館）に佐織地区、八開地区から283人の若者が集まりました。成人が18歳になって以降、愛西市では、20歳の節目として「二十歳の集い」が行われています。

愛西市原水協が  
核兵器廃絶を願い平和宣伝

原水爆禁止愛西市地区協議会（愛西市原水協）は、二十歳の集いに参加する若者に対して、核兵器の廃絶を求める平和宣伝を行いました。

愛西市が行っている「非核平和都市宣言」を印刷したチラシを配布しながら、「世界から核兵器の廃絶を実現するため、2017年に国際連合で採択された核兵器禁止条約を日本も批准するように求めよう」と訴えました。

昨年は、日本原水爆被爆者団体協議会（日本被団協）が、ノーベル平和賞を受賞しました。今年も、被爆80年です。被爆者は、「自分たちが生きていくうちに核兵器を無くそう」と運動しています。



<佐織会場>



<佐屋会場>

# 2025年 新しい政治をさらに前に



愛知選挙区予定候補  
すやま初美

衆院選で与党が少数になった結果、自民党が反対して実現できなかった国民の切実な願いも、たまたかい次第では実現する可能性がひらけました。一方で参議院ではまた与党が多数です。  
今年の夏は参院選があり、参議院でも与党を少数に追い込むチャンス。自民党政治を大もとから変える日本共産党の躍進で新しい政治をさらに前に進めましょう。



参議院議員  
井上哲士

総選挙での審判に反省なき自民党。石破首相は「企業献金が政治をゆがめたことはない」「企業献金禁止は憲法違反の疑い」とまで答弁しました。  
日本共産党の躍進でお金で動く政治を終わりにしましょう。初当選以来24年間、政治改革の特別委員会に所属してきた私はその先頭に立ちます。  
昨年は、参議院で質問回数・時間ともトップで、「三ツ星議員」の表彰を受けました。さらに政治を前に進め「憲法と命輝く日本」へ力を尽くします。よろしくお願ひします。